

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和6年度】

2025 年 3 月 日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 162-0825

所在地 東京都新宿区神楽坂6丁目38番 中島ビル505号

評価機関名 有限会社 ミクロンサポート

認証評価機関番号

機構 04 - 127

電話番号 03-3267-6741

代表者氏名 代表代行 谷茂岡 和夫

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号		
	①	高戸祥子	経営	H2301112		
	②	出口満貴子	福祉	H2001116		
	③	谷茂岡和夫	福祉	H2201052		
	④					
	⑤					
	⑥					
福祉サービス種別	認可保育所					
評価対象事業所名称	子ひばり保育園					
事業所連絡先	〒	120-0015				
	所在地	東京都足立区2丁目33番2号				
	TEL	03-3887-1701				
事業所代表者氏名	飯塚登					
契約日	2024 年 8 月 26 日					
利用者調査票配付日(実施日)	2024 年 10 月 1 日					
利用者調査結果報告日	2025 年 1 月 15 日					
自己評価の調査票配付日	2024 年 10 月 1 日					
自己評価結果報告日	2025 年 1 月 15 日					
訪問調査日	2025 年 1 月 24 日					
評価合議日	2025 年 1 月 25 日					
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	職員自己評価は、各職員に職員自己評価票と切手付きの返信用封筒をセットして配付しました。返信用封筒は無記名にし、開封は評価機関でおこなうことでプライバシーを確保しました。保護者調査は標準内容の他に独自の質問を加え、回収は職員調査と同様に行いました。保護者調査、職員自己評価、経営層自己評価から専門分野の評価者が総合的に分析し、課題が鮮明になるようグラフ化して説明を行い、集計結果の意味を考えていただけるようお伝えしました。これら検証を踏まえて報告書に反映しました。					

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。

本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

2025 年 3 月 26 日

事業者代表者氏名

飯塚 登



調査対象

園を利用している園児54名、保護者49名。複数で利用されている場合を1世帯とし、49世帯を対象としました。

調査方法

調査項目は共通評価項目に沿い、園を通じて各保護者へ手渡しで配布しました。回収はプライバシーに配慮し、直接評価機関へ郵送する方法で実施しました。

利用者総数
利用者家族総数(世帯)
共通評価項目による調査対象者数
共通評価項目による調査の有効回答者数
利用者家族総数に対する回答者割合(%)

54
49
49
29
59.2

利用者調査全体のコメント

調査対象者49名に対して、有効回答29件59.2%の回答がありました。総合的な感想として園に対する満足度は、「大変満足」11名34%、「満足」16名54%、「どちらともいえない」1名3%、「不満」1名3%がありました。「大変満足」と「満足」を合わせると93%と非常に高い満足度の結果が得られました。日頃、事業所に感じているコメントでは「毎日子ども達が楽しく過ごせるように対応いただいていて、本当にありがとう」「日頃楽しく登園しており、休みでも園を覗いて行きたいと言うほど好きであるため感謝している」「子どもの気持ちを尊重して接してくれている」「先生たちはいつも笑顔、育児の悩みも、親切にむきあってくれる」「家では取り組めない遊びもしてくれます」「コドモンの使用で連絡自体は便利になった」「保育園に入れてから、ますます子どもの成長を感じることができます」と園に対して信頼を寄せていることがうかがえます。又、「父親の送り迎えの時にも、母親と同じように園の様子を詳しく話して欲しい」などもありました。

利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	29	0	0	0
「はい」が100%でした。 コメントは「週次で体操や英語教室があり、出来る事が増えるスピードが早く感じます」とありました。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	27	2	0	0
「はい」が93%、「どちらともいえない」が7% でした。 コメントは「保育園で習った事を自宅でも再現してくれたり、両親に教えてくれたり自宅でもやりたいとよく言っている」とありました。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	26	3	0	0
「はい」が90%、「どちらともいえない」が10% でした。 コメントはありませんでした。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	27	2	0	0
「はい」が93%、「どちらともいえない」が7% でした。 コメントは「気温に左右されるが、散歩や公園・園庭など、戸外遊びを多く取り入れています」とありました。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	13	6	1	9
「はい」が44%、「どちらともいえない」が21%、「いいえ」3% でした。 コメントはありませんでした。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	19	7	1	2
「はい」が66%、「どちらともいえない」が24%、「いいえ」3%、「非該当」7% でした。 一部に「園庭の環境が安全とはいえない」「事前に対策をした方が良い」というご意見もありました。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	24	5	0	0
「はい」が83%、「どちらともいえない」が17% でした。 コメントは「イベントを土曜日に設定してくれるので会社を休む必要がない」「保育参観は平日ですが、その他の行事で子供の園生活を見ることが出来ます。」とありました。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	24	4	1	0
「はい」が83%、「どちらともいえない」が14%、「いいえ」3% でした。 コメントは「とても丁寧に対応してくれている」「入園からずっと見てくれている先生とは話をしやすい」とありました。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	22	4	2	1
「はい」が76%、「どちらともいえない」が14%、「いいえ」7%、「非該当」3% でした。 歴史があるだけに「古いので床などは綺麗とは言えない」というご意見もありました				
10. 職員の接遇・態度は適切か	25	4	0	0
「はい」が86%、「どちらともいえない」が14% でした。 コメントは「言葉使いや態度、服装は適切です」「先生が名札を付けてもらえると、名前を把握出来ます」とありました。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	28	1	0	0
「はい」が97%、「どちらともいえない」が3% でした。 コメントは「手足口病になった際、治りきっていない時に登園した際、ガーゼを当ててくれました」「少しぶつけたときに冷やしてくれた」とありました。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	22	3	0	4
「はい」が76%、「どちらともいえない」が10%、「非該当」が14% でした。 コメントは「まだあまり経験がない」「小さい怪我についても報告してくれる」とありました。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	27	2	0	0
「はい」が93%、「どちらともいえない」が7% でした。 コメントは「マイペースな子にも急がすことなく、見守ってくれます」とありました。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	21	3	0	5
「はい」が72%、「どちらともいえない」が10%、「非該当」17% でした。 コメントはありませんでした。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	8	8	3	10
「はい」が27%、「どちらともいえない」が28%、「いいえ」10%、「非該当」34% でした。 コメントは「コドモンで毎日日記を送ってくれて嬉しいです」とありました。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	23	4	1	1
「はい」が79%、「どちらともいえない」が14%、「いいえ」3%、「非該当」3% でした。 「分からないことに質問したら、分かりませんと対応された」というご意見もありました。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	8	8	3	10
「はい」が27%、「どちらともいえない」が27%、「いいえ」10%、「非該当」34% でした。 コメントは「今のところ経験がありません」「相談できることはもともと知っています」とありました。				

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	多彩な体験や活動を通して、表現する楽しさや経験の幅を広げています	
内容①	和太鼓・マーチングなどの指導を取り入れ、音感・リズム感などの感性を養うことや、幼児クラスでは運動機能の向上を目指し体育専門の指導員による体育指導、外国人講師による英語の時間、情操教育の時間では習字やひらがなや数字に親しむ時間があります。また子どもたちの成長に行事は必要不可欠と考え、コロナ禍でも工夫して行事を開催してきました。和太鼓やマーチング、英語は行事の中に発表の場が設けられ、保護者に日頃の成果を共有する機会となっています。多彩な体験活動や行事を通して子どもたちの感性や情緒が育まれています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-6	子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している
タイトル②	栄養士を中心に多彩な食育活動を通して、子ども達は食への興味や関心を深めています	
内容②	年間の食育計画は栄養士を中心に職員と連携して立てられています。訪問調査日はフルーツのバイキングの楽しみのある給食の取組みが見られたほか、卒園前には子どもたちの人気のメニューをリクエストできる工夫も取り入れられています。栽培活動では小松菜やなすやきゅうりなどを栽培し、収穫して給食のスープやふりかけにして食しました。クッキングではおやつのでコレーションやカレー作りを行いました。また芋ほり遠足やもちつきなども行っており、多彩な食育活動を通してより一層子どもたちの食への興味や関心が深まることが期待されます。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-9	地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている
タイトル③	地域に根差した様々な交流を通して、子ども達が地域の中で育つ姿が見られています	
内容③	開園70年以上の歴史のある保育園では、地域と関わる行事や交流活動も盛んに行われています。コロナ禍もひと段落し今年度からは活動の再開や、新たな取り組みを模索しています。夏休みの地域活動では卒園児が懐かしい保育園に戻り、先輩として年下の子どもたちの面倒を見て頼もしい姿をみせてくれます。ハロウィーンの時の訪問など、地域の老人会との交流活動を年4回行っています。運動会、生活発表会、人形劇等地域の子育て家庭が参加できる機会を設けています。今後は地域の方に園に来てもらう交流活動をもっと増やしていきたいと考えています。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	幅広い取り組みを通じて地域ネットワークの好循環を生み出し、コミュニティリーダーとして機能し始めています
	内容	子ひばり保育園は、地域との連携を重視しながら、保育を超えた幅広い役割を果たしています。園内では職員間の理念共有が進み、一体感を持って子どもたちの成長を支える環境が整っています。地域の保育資源としての役割を果たすべく、「セトルメント」の考え方にに基づき、ネットワーク形成や住民との協力を積極的に推進しており、さらに子ども食堂との連携や地域住民との交流機会の創出など、地域の福祉向上にも貢献しています。こうした幅広い取り組みを通じて地域ネットワークの好循環を生み出し、コミュニティリーダーとしての役割を果たしています。
2	タイトル	経営体制の見直しとともに職員の力を引き出すための効率化を通じて、健全運営の体質への転換が図られています
	内容	当園は、経営改革を強力に推進し、職員の主体性を活かした収支体質の改善を実現しています。トップの急逝による危機を乗り越え、園長代理のリーダーシップのもと制度改革を進め、外部の知見も活用しながら安定した経営基盤を構築しつつあります。職員の意見を積極的に取り入れ、省力化と働きやすい環境整備を両立し、愛着と定着率を向上させました。また、各自の専門性を活かした保育が園の魅力高め、保育の質の向上とともに財務状態を大幅に改善するといった両軸での改革が進められており、改善の好循環を生み出しているといえます。
3	タイトル	子どもが自己を発揮して物事に主体的に活動できることを目指し、職員が同じ方向性で連携・協力しながら保育に関わっています
	内容	子どもの主体性を育む保育とは何かを考え保育の中でサークルタイムを取り入れ、子ども同士で十分に話し合う場を設けています。自分の意見を臆せず言えるようになることや、自ら行動するようになるなど子どもの自発的行動が促進されるようになったと感じています。また園長代理・主任が中心となり、職員間のコミュニケーションや人間関係の構築、協力する職場風土が作られています。様々な視点から意見を出し合うことや同じ方向性で保育に取り組むことで職員間の助け合いの雰囲気ができ、職員全体で子どもの主体性を大切にしたい保育を支えています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	持続的成長に向けた中長期でのありたい姿と「子ども主体の保育」のありかたについて、職員も参画して検討することが期待されます
	内容	子ひばり保育園は、地域との連携を深めながら社会的責任を果たす保育を実践してきましたが、今後の持続的な成長には戦略的な計画とその仕組み化が求められます。園全体で長期的なビジョンを共有し、具体的なアクションプランや進捗管理を整備することで、より効果的な運営が可能になります。また、職員同士の情報共有が進む中、子ども主体の保育への転換をさらに促進し、職員自らが最適な保育のあり方を考え、創意工夫を重ねる文化を育んでいくことが大切です。
2	タイトル	現場業務の工夫や改善効果を見える化するための分析的アプローチを強化することが望まれます
	内容	現在、働きやすい環境の改善として、時間給制度やバースデー休暇の導入、職員が子どもにもっと集中できるよう保育園管理システムの本格導入が進められており、社会の働き方改革を先導するような取り組みがあります。また、豊かな経営ノウハウを持つトップが率先して業務の仕組み化・システム化を推進しています。業務環境やツール、文書類は整いつつあるので、今後は収集したデータを分析し、より効果的に運営を改善するための基盤作りが求められます。この分析的アプローチを強化することで、保育の質向上をより確実に実現できると思われます。
3	タイトル	園の行事や習い事、地域との交流事業など様々な取り組みが広く情報発信され、今後の園児の獲得に繋がることを期待されます
	内容	園では多彩な行事、地域との交流事業、体育指導や英語遊び、和太鼓やマーチング、知育や情操教育の時間、食育活動と数多く取り組みがあり、保護者からも好評を得ていますが、残念ながら定員に満たないクラスもあるようです。園のホームページの更新頻度を高めることや、ホームページ以外の媒体を通して情報発信していくことも検討する余地があると思われます。自園の保育の「らしさ」や特色をもっと発信することで地域関係者と繋がり、マタニティなど将来の利用者となり得る人にも情報が届き、地域から選ばれる保育園となることが期待されます。